

平成28年度 市民環境部長「政策宣言」中間報告

市民環境部長 河原 隆 幸

○ 平成28年度重要事業

事業名	新斎場の整備
目 標	これまでの経過も踏まえ、引き続き慎重に選定作業を進め整備地を決定するとともに、新斎場整備の基本計画を策定し、基本設計に着手します。
進捗状況	沖塚原地内を新斎場建設候補地として選定し、建設に向けた協議を進めるため、8月30日に市長と沖塚原自治会長との間で基本合意書を取り交わしました。
今後の対応	今年度内に新斎場整備基本計画を策定した上で、基本設計に着手します。

事業名	新庁舎開庁に伴う新しい窓口サービスの構築
目 標	新庁舎には総合窓口と担当課窓口を、大島を除く4地区には地区センターを設置し、相互に連携を取りながら、窓口サービスの充実に努めます。特に、新庁舎の総合窓口につきましては、「待たない」「迷わない」「手間どらない」窓口が実現できるよう、開設に向けて着実に準備を進めていきます。
進捗状況	トラブルの無い利用しやすい窓口サービスの実現に向けて、関係部署との調整や窓口対応のシミュレーション等を実施し、各窓口で取り扱うサービスに関する内容を決めました。
今後の対応	新庁舎開設後、実際の運用で気づいたことや、お客様から指摘のあった部分を修正・改善し、更に利用しやすい窓口レベルアップを図ります。また、今後、混雑が予想される年始、年度末、年度初めでの対応を検討し、スムーズな窓口運営を図ります。

事業名	新庁舎につながるコミュニティバス路線の新設
目 標	新庁舎につながる新路線を開庁に合わせて開設し、この路線を中心に既存路線の支線化や長距離、大循環路線の見直しを図るとともに、利用実態に合わせた車両の小型化を進めるなど、利便性の高い効率的な運行を実現します。
進捗状況	新庁舎と小杉駅を經由して市民病院とパスコ前を結ぶ新路線(中央幹線)の10月3日からの運行に向けて準備を整えることができました。併せて長距離、大循環となっている一部路線を新路線(中央幹線)に接続する支線とする見直しを行うとともに、利用者が少ない一部路線で使用する車両の小型化を進めました。
今後の対応	新路線(中央幹線)を広く市民等に周知し利用促進を図るとともに、利用実態に合わせ、既存路線の支線化等の見直し及び使用車両の小型化や便数の見直しを引き続き検討していきます。